



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第112号

2021年7月1日

令和3年度年次総会を本部事務局でリモート開催

事業報告・計画および決算・予算を審議・承認 研究発表・シンポジウム・見学会は10月に秩父で

令和3年度総会を、5月29日(土)に本部事務局でリモート開催した。異例の形式での開催となったが、理事を中心に一般会員も出席し、つつがなく総会審議を進め、秩父での再開を約して定刻通りに終了した。

総会では、菌田稔理事長による開催挨拶の後、正会員総数195名のうち委任状を含む126名の出席を得て総会の成立を確認。渡辺弘之副理事長を議長に選出し、令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度事業計画・収支予算について審議承認した。さらに、社

叢インストラクター資格更新について報告した。

ワクチン接種が進みつつはあるが、変異株の発生・拡大など、まだまだ気の抜けない状況下におかれている。そのような中ではあるが、昨年度は実施を断念した研究発表、シンポジウム、見学会については、10月に秩父神社での開催に変更はなく、今後、新型コロナウイルス感染症の流行状況を勘案しながら、感染予防対策などを検討しつつ、可能な限り、例年に近い形式での実施に向けて準備を進めていく。

研究発表・シンポジウム・見学会タイムスケジュール(案)

以下は暫定案です。最終決定案は9月初旬発行の本紙と同時に、HPにも掲載いたします。適宜ご覧ください。お申し込みは9月に開始いたしますので、今しばらくお待ちくださいますよう、お願いいたします。

10月23日(土): 秩父神社

11:00~11:30	秩父神社正式参拝
11:30~12:45	研究発表
12:45~14:00	昼食と秩父神社柵の森拝観
14:00~18:00	シンポジウム
18:00~19:00	懇親会 於：秩父神社

10月24日(日) 見学会: 三峯神社参拝と拝観

9:00	西武秩父駅集合 専用バスにて三峯神社に
10:30~15:30	三峯神社正式参拝・拝観
15:30~17:00	武甲山経由で秩父今宮神社へ
17:00~17:30	秩父今宮神社正式参拝・拝観
18:00	西武秩父駅解散

研究発表者募集!

テーマ：社叢に関する理論的研究や社叢の保存・拡充に関する実践的調査研究

※ いずれも未発表のものに限る

発表時間：20分(報告15分+討議5分)

応募締切：2021年8月末日必着

応募要領：住所・氏名を明記の上、発表内容を300~400字にまとめ、E-Mail、FAX、郵便で本部事務局に送付

第1号議案

令和2年度事業報告書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催	総会審議・特別講演	6月13日	伏見稲荷大社
理事会の開催 (3回) 第61回 第62回 第63回	令和2年度総会開催 等 令和3年度総会開催について 等 令和3年度総会運営 等	6月13日 11月20日 3月15日	伏見稲荷大社 社叢学会事務局・真和総合法律事務所 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第87回 関東 中部 第36回	春日山原始林観察会 尾鷲の社叢と九木崎原生林	11月27日 10月25日・26日	春日山 熊野古道センター・九木神社
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	11月7日	関東(武蔵国)
会員証発行	会員約420名分	通年	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4～6ページ)	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・87ページ)	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	資格更新の認定	3月	本部事務局
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第2号議案

令和2年度事業会計収支決算
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,122,000		総会関係費	26,860	
市民会員会費	140,000		定例研究会費	10,000	
賛助会員会費	1,400,000		会報「鎮守の森だより」関係費	298,854	
協力会員会費	570,000	3,232,000	会誌『社叢学研究』関係費	354,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	0	
社叢インストラクター養成事業	15,000		社叢管理事業	0	689,714
書籍販売	74,900		2 管理費		
総会関連事業等参加費	4,000	93,900	雑給	1,200,000	
4 雑収入			旅費交通費	96,000	
受取利息	12		通信費	140,985	
その他寄付金	50,000	50,012	地代家賃	924,000	
			租税公課	700	
			事務用品費	102,598	
			支払手数料	56,123	
			水道光熱費	5,704	
			雑費	0	2,526,110
当期収入合計(A)		3,375,912	当期支出合計(B)		3,215,824
当期収支差額(A)-(B)					160,088
前期繰越支出差額(C)					324,950
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					485,038

第3号議案

令和3年度事業計画書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催	年次総会・特別講演	5月29日	京都事務局
関連事業の実施	シンポジウム・研究発表	10月23日	秩父神社
	三峯神社等参拝と武甲山見学等	10月24日	三峯神社等
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発	7月・9月・22年3月	伏見稲荷大社 他
	会員相互の研鑽、市民への啓発	4月・7月・10月・22年3月	國學院大学 他
	会員相互の研鑽、市民への啓発	10月17日・18日	伊良湖神社・宮山原始林
	会員相互の研鑽、市民への啓発	1回程度	太宰府天満宮 他
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	全国
会員証発行	令和3年度会員証約400名分	5月～	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」情報と研究会報告	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』研究論文と情報	2022年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営	7～11月 2022年2月～3月	
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第4号議案

令和3年度収支予算書
(令和3年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,080,000		総会関係費	700,000	
市民会員会費	132,000		定例研究会費	150,000	
賛助会員会費	1,400,000		「鎮守の森だより」関係費	350,000	
協力会員会費	550,000	3,162,000	『社叢学研究』関係費	400,000	
			社叢インストラクター養成事業費	50,000	
			社叢管理事業	3,000	1,653,000
2 事業収入			2 管理費		
社叢インストラクター養成事業	35,000		雑給	1,200,000	
資格検定料・認定料	15,000		旅費交通費	100,000	
養成セミナー等参加料	20,000		通信費	150,000	
書籍販売	20,000		地代家賃	924,000	
総会関連事業参加費等	600,000	655,000	租税公課	0	
			事務用品費	50,000	
3 雑収入			支払手数料	60,000	
寄付金等	350,000		水道光熱費	7,000	
利息	10	350,010	理事会関係費	5,000	2,496,000
			3 予備費	0	0
当期収入合計(A)		4,167,010	当期支出合計(B)		4,149,000
当期収支出差額(A)－(B)					18,010
前期繰越支出差額(C)					485,038
次期繰越収支差額(A)－(B)＋(C)					503,048

事務局から

- リモートシステムを使っただけの総会は無事に終了いたしました。対面ではないもどかしさを感じつつも、移動の必要がない分、遠隔地でも出席しやすいという利点も感じました。今後、社叢学会事業のより一層の発展のために、こうした手段も有効に利用していけたらよいのではないかと考えております。ワクチン接種も徐々に進んでまいりました。もうしばらくの辛抱かと思えます。ウイルス拡散を招かぬように、身を慎みつつ、10月に秩父で皆さまにお会いできることを楽しみにしております。
- 研究発表・シンポジウム・見学会は、細心の対策を講じながら開催して参ります。会員の皆さま方におかれましても、体調不良の折にはご遠慮いただくなどのご配慮を頂きたく存じます。今後の予定、変更の情報などは社叢学会のホームページに掲載いたします。ご参照ください。
- 下記の通り、『社叢学研究』20号への投稿を募集しています。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひご投稿ください。論文には至らない準備段階の研究ノートや、短報、身近な活動、社叢の訪問記(紀行文)もお待ちしています。学術論文としての体裁を整えるための書き方

や、引用文献、参考文献の扱い、記載の仕方については社叢学会のホームページに公開しています。お目通し下さい。

(<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>)

- 令和3年度(2021年4月～2022年3月)の会費を頂いた方には順次、会員証をお送りしています。お手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までお知らせください。

編集後記

某顧問から、もうトシヤから今年で退会するけれど、アンタ(=フジオカ)は死ぬまでガンバレって。どゆこと、死ぬまでって? ならば明日にでも死んでやる!! とゆーわけにもいかない。。ならば、、。。そうだ! 退会(足抜け?)金をたっぷり頂こうではないか!! って、ヤクザか!!

で、ワクチンですよ。ワタシなんて、高齢者でもないし(こほ!)、基礎疾患もないし、保母さんや教職員でもないし、高齢者施設に勤めている(ちょっと似たようなもんか!?)わけでもないし、職域接種って、たった一人では話しにもなりまへん!し。いったい何時になることやら。ま、気長に。いやいや、いかんいかん! 10月には秩父でイベントがあるではないか! それにそろそろ海の外にも出たいよお。でも、ワタシだけが頑張ってもどうにも、こうにもだしなあ。。。(藤岡 郁)

掲 示 板

『原稿募集!』

『社叢学研究』第20号への投稿:論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月29日(金) 活動報告等12月24日(金) いずれも必着。

★ 会誌の投稿規程と論文の体裁、引用文献の記載方法を公開しています。投稿される方は、これに従って提出してください。<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>

* 書評欄では会員の皆さま方の著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

定例研究会 今後の予定

関 西: 吉志部神社(吹田市)と周辺の里山林観察会 など(時期は未定)
関 東: 未定
中 部: 10月17日(日)・18日(月) 伊良湖神社社叢・宮山原始林見学会
福岡県: 未定

※ 今後の予定につきましては決まり次第、社叢学会HPに掲載いたします。

東日本大震災社叢復興支援事業報告書 8年間の全てを記録 頒価 3千円

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号
TEL・FAX 075-212-2973

URL <http://www.shasou.org> E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp

社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内
TEL080-1514-5032 E-Mail shasougakkai@hotmail.com